

# 高校生 広報部

市内の高校生が柳川市について考え、取材し発信していくコーナーです。

【問】市企画課広報係 ☎ 77・8425

今回取材をしてくれた柳川高校の皆さん



左から、福山彩音さん(2年)、吉川杏奈さん(2年)、古庄亜理沙さん(3年)、安達真弓さん(3年)



図書館本館に設置されている  
まちづくり自動販売機



なまこ壁の模様

「少しでも貢献できるなら買おう！」という気持ちになります。1本に付き20%の割合を、「たった」と見るか「こんなに」と見るか。この記事をきっかけに、より多くの人がこの自動販売機が存在だけでなく、その意義も知ること、さらに充実した支援が行われていくことを願っています。

**まちづくり自動販売機**  
柳川市役所では、市の課題を解決しようと立ち上がった職員有志団体の提案で、2009年から株式会社コカ・コーラウエストと提携し、「まちづくり自動販売機」を設置しています。当初は8カ所でしたが、現在は14カ所に設置されており、多くの人によって利用されています。

**いつの間にか売り上げの20%を貢献**  
この自動販売機では、購入される商品1つ(例…お茶1本)につき販売価格の約20%が市に寄付されています。この寄付により、昨年度までの10年間で約1300万円(月額で約10万8000円)が集まっています。集まったお金は、

主に教育支援に利用されています。例えば、市内の小中学校の通常授業だけでは身に付かないキャンプや体験教室などの実践的な学びが得られる環境づくりや、保育料の軽減、学校設備の充実などに充てられています。

**取材を終えて**  
私たちは、今までこの自動販売機を知りませんでした。しかし、これからは市内で自動販売機を見たとき、その存在をいっつもより身近に感じて、「少しでも貢献できるなら買おう！」という気持ちになります。1本に付き20%の割合を、「たった」と見るか「こんなに」と見るか。この記事をきっかけに、より多くの人がこの自動販売機が存在だけでなく、その意義も知ること、さらに充実した支援が行われていくことを願っています。

## 子どもたちの笑顔を増やす「まちづくり自動販売機」

**分別するほど家計の負担が軽くなります**  
来月1月1日からごみ袋の価格を改定します。これにより、分別をせずに燃えるごみとして出すと、可燃ごみ袋の値上げがそのまま家計の負担になります。しかし、資源物を分別すれば、値下げした安い袋で出すことができます。また、生ごみ処理機を使うと、さらに可燃ごみが減量。1週間で可燃ごみ袋大を4枚使う家庭の場合、分別すると年間に約6000円弱お得になります。新しいごみ袋の価格などは、広報やながわ7月15日号または、市公式サイトで確認してください。



■分別すれば得をすることのイメージ図  
(1週間で可燃ごみ袋大を4枚使う家庭の場合)

	分別をしない	紙類とプラスチック類を分別	紙類とプラスチック類を分別 生ごみ処理機を使用
1週間	40円 × 4枚 可燃ごみ袋大	40円 × 2枚 可燃ごみ袋大 10円 × 1枚 資源ごみ袋大	40円 × 1枚 可燃ごみ袋大 10円 × 1枚 資源ごみ袋大
ごみ袋料金	160円	90円 <b>70円お得</b>	50円 <b>110円お得</b>
1カ月(4週)	40円 × 16枚 可燃ごみ袋大	40円 × 8枚 可燃ごみ袋大 10円 × 4枚 資源ごみ袋大	40円 × 4枚 可燃ごみ袋大 10円 × 4枚 資源ごみ袋大
ごみ袋料金	640円	360円 <b>280円お得</b>	200円 <b>440円お得</b>
1年(52週)	40円 × 208枚 可燃ごみ袋大	40円 × 104枚 可燃ごみ袋大 10円 × 52枚 資源ごみ袋大	40円 × 52枚 可燃ごみ袋大 10円 × 52枚 資源ごみ袋大
ごみ袋料金	8320円	4680円 <b>3640円お得</b>	2600円 <b>5720円お得</b>



分別するとこんなにお得です  
シリーズ「ごみ減量をいかにして成功させるか」②

来月1月1日から可燃ごみ袋を値上げして、ペットボトルとプラスチック類専用袋を値下げします。これは、「分別すれば得をする」仕組みづくりのためです。今回は、分別するとどれだけお得になるのか紹介します。

【問】市廃棄物対策課 ☎ 72・1334

